

学校改革！教職員の時間創造プロジェクト

～働きやすい環境づくりのために～

ニュースレター

2023年2月



下益城城南中学校『働き方改革』取組紹介

教職員の働き方改革の推進のため、各学校で工夫した取組が行われています。今回は、ICTの効果的な活用によりペーパーレス化と時間短縮を進められている下益城城南中学校の実践を紹介します。

1 教員用タブレットの活用

- ①生徒のタブレットでは閲覧等できないよう、教職員間のやり取りはすべて Teams を使用
- ②職員室のモニターに、日程や連絡等を常時提示

2 ペーパーレス化

- ①保護者への配付物は QR コードを活用
 - ・各通信・お便り等
 - ・PTA・部活動総会資料
 - ・学校経営案
 - ・新入生保護者会資料 など
- ②アンケートは Forms を活用
 - ・学校評価
 - ・教育相談の日程確認 など
- ③生徒への配付物はロイロノートを活用

3 職員・保護者の意識改革

- ①校内研修によるペーパーレス化の必要性の提示
- ②保護者へのアンケート実施による意見収集

その他、日課の工夫（掃除や朝自習のカット）や安心メールの活用（欠席連絡等）など、たくさんの取組がなされています。また、広い職員室は大変整頓されており、環境づくりも進められていると感じました。

教頭先生へインタビュー



堀光晴 教頭

勤務時間の短縮のみが目的ではなく、それをする事で他の業務に取り組む時間や心の余裕が生まれることが重要です。最初は、変化への否定的な声もありますが、効果が出てくるとさらに実践が進められます。「誰かがやらなきゃ何もはじまらない」という気持ちで、昨年度より積極的に改革を進めています。また、校区の小学校、他校の教頭先生方とのつながりも大切にしています。



熊本市部活動改革検討委員会を設置し協議を進めています



本市の部活動改革については、7月から3回にわたり実施した『部活動のあり方検討会』において、先生方や本庁関係課とともに協議を進めてきました。

さらに12月28日には、外部有識者を交えた審議会である、第1回

『熊本市部活動改革検討委員会』を開催しました。教育長は冒頭で、「必ずしも、国の方針どおりにやればいいということではないと思っています。熊本市の現状に沿って、熊本市の子どもたちにとって、何がベストかを考えていきましょう。」と挨拶しました。1月31日に実施した第2回では、文化庁『文化部活動の地域移行に関する検討会議』座長代理の信州大学齊藤教授と意見交換等を行いました。検討委員会は、今年度4回

（月1回）と来年度6回（2か月1回程度）開催し、様々な検討課題について協議していきます。そして、今年の夏までに一定の方向性を中間答申としてとりまとめでいただく予定です。



坂下玲子 委員長	熊本大学教授
中川保敬 副委員長	ひとづくりJAPANネットワーク理事長
吉田賢一 委員	吉田法律事務所長 一般財団法人熊本市文化スポーツ財団理事
金森勲 委員	城西中学校長
平木美和 委員	芳野中学校長
富田真 委員	熊本市スポーツ協会理事
西島徹郎 委員	龍田地域なかよしスポーツクラブ会長
大賀恵美 委員	E・LANDスポーツクラブ代表取締役社長
平江純一 委員	富合町文化協会副会長
藤川いずみ 委員	くまもと邦楽会館代表
首藤崇 委員	ロアッソ熊本スポーツクラブ理事
竹下文則 委員	文徳高等学校・文徳中学校長
坂本浩 委員	熊本商工会議所専務理事
清田晃子 委員	熊本市PTA協議会常任理事
稲田奈保美 委員	公募委員
月足美幸 委員	公募委員

[熊本市部活動改革検討委員会の詳しい内容等についてはココをクリック\(熊本市ホームページへ\)](#)

2月8日より、全職員を対象とした『教職員の勤務実態アンケート』を実施します。ご協力よろしくお願いいたします。

